

取扱説明書及び部品表

Takakita

マニマスプレッダ[®]

北海道仕様 DL7001G

都府県仕様 DL7001GT



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、マニアスプレッタの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。

ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げ販売店または当社にご注文ください。
(部品コードは裏表紙に記載してあります。)
- 本書は**注意**として知っておくと得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

⚠ 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	7
各部の名称とはたらき	8
トラクタへの装着	10
1. 装着のしかた	10
2. ユニバーサルジョイントの取付け	10
3. 油圧ホースの接続	11
4. コントロールボックスの接続	11
5. 灯火装置の接続	12
運転に必要な装置の取扱い	13
1. スタンドの取扱い	13
2. マニアパンの取扱い	13
3. 散布量（コンベア送り速度）の調整	14
4. P T O連動機能について	15
5. 近接センサについて	15
作業方法	17
1. 作業手順と要点	17
2. 移動するときは	18
3. 堆肥の積み込み方法	18
4. 散布できない物は	18
5. コンベア送り速度の設定	18
6. 散布量とトラクタ速度について	19
7. 散布方法について	19
8. スラリー（ヘドロ）状堆肥の散布	20
9. 傾斜地での作業	20
作業前の点検について	21
1. 点検一覧表	21
簡単な手入れと処置	22
1. コンベアチェーンの張り調整	22
2. サブビータ・メインビータ 各駆動チェーンの張り調整	22
3. シェアボルトの交換	23
4. 洗浄について	23
5. タイヤの点検、修理	23
6. コントロールボックス（電気系統）が 故障した場合の処置	24
7. 各部の注油、グリスアップ	26
8. ミッション給油	29
9. 長期格納時の手入れ	29
不調診断	30
付表	31
1. 主要緒元	31
2. 主な消耗部品	31
3. 給油	31

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠ 表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

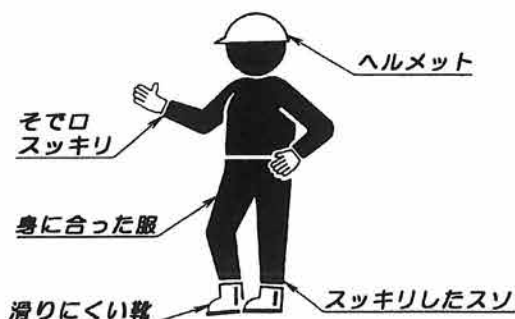
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。
- 16歳未満の人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



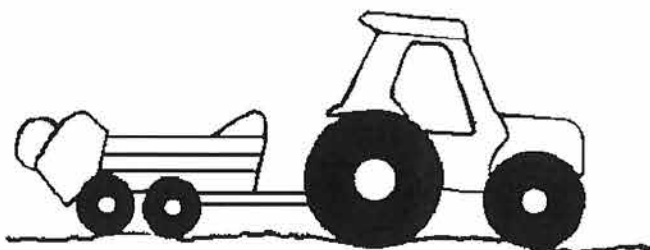
(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適用トラクタ

型 式	適応トラクタ kw(PS)
DL7001G	36.8～73.6 (50～100)

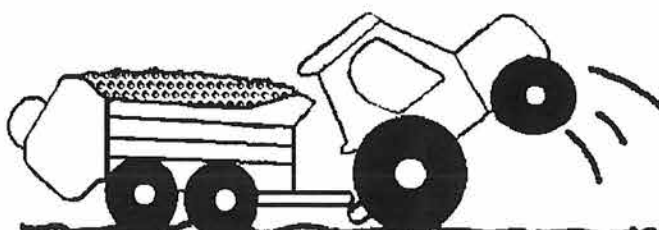
- ドローバ : ドローバ
- PTO 回転速度 : 540min⁻¹(rpm)
- 油圧取り出し : 複動1系統
単動1系統
(オプション部品使用の場合、
複動1系統)



(4) 装着時の前後バランス確認

ドローバに取付けて堆肥などを積載したときのヒッチ荷重に、トラクタ質量を加えた20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。

もし、不足するときはフロントウェイトを取付けて、20%以上を確保する如果不能なければ装着しないでください。



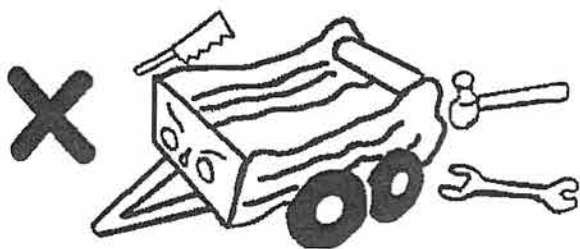
⚠ 安全に作業するために

(5) バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けないでください。

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。また、改造はしないでください。



(7) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

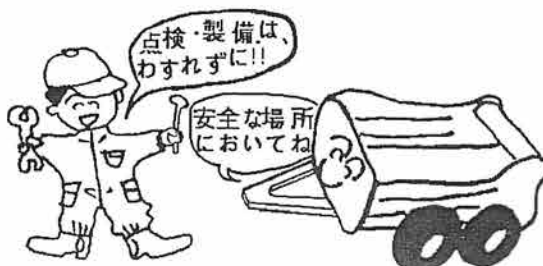


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除するときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でトラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキ又は車止めをしてから行ってください。



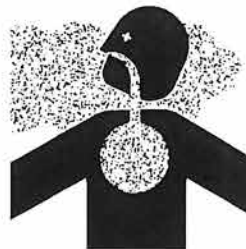
(4) 機械を常にきれいに

本機の性能を長期間維持するためにも、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでトラクタのエンジンを始動するときは、エンジンの排気ガスによる中毒のおそれがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所でし、やむをえず屋内で使用する場合には、十分換気を行ってください。



(6) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずエンジンを止めてから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



安全に作業するために

(7) 注油・給油をするときは

エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。



(8) 高圧油に注意してください

- ① 高圧油による傷害を防止するために、配管・ホースなどの取外し前には、必ず圧力を抜いてください。
- ② 圧力をかける前に配管・ホースなどは、正しく確実に締め付けてください。
- ③ 非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で油漏れを探すことはやめてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。
- ④ 漏れによるヤケドやケガを負った場合は、速やかに医師の診療を受けてください。

(9) 長期格納するときは

機械をきれいにし、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に車止めをして保管してください。



3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

また、ビータの回転をするときは付近に人や器物がないことを確認してから行ってください。



(2) エンジンを始動するときは

クラッチを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。周囲の安全を確かめ、急発進をしないよう徐々に発進してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(3) 2人以上で作業するときは

2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。

(4) 回転中のビータには触れない

回転しているビータに巻き込まれると重傷を負うことがあります。手や足で絶対に触れないようにしてください。

(5) シェアボルトの交換や巻き付き堆肥などを取り除くときは

エンジンを必ず止めてから行ってください。



安全に作業するために

(6) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

移動時のスピードは25km/h以上出さないでください。スピードを出しすぎたり、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力低くして作業を行ってください。

(7) 傾斜地で作業するときは次のことを必ず守ってください

①斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の作業は、必ず直角方向に走行してください。

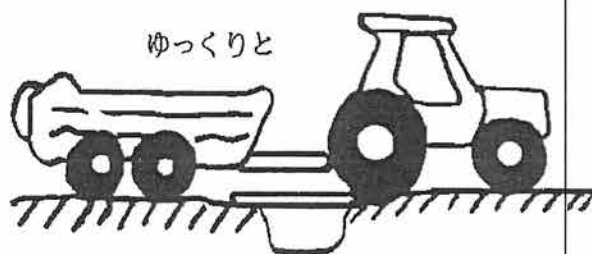
②傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

(8) キャビンなしのトラクタに装着して作業する場合

堆肥が前方に飛散し、目に入るおそれがありますので必ず保護メガネを着用して作業してください。

(9) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

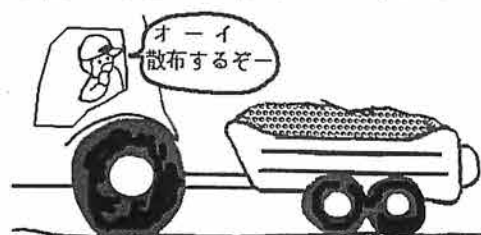
スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



(10) 作業途中で運転席より離れるときは機械を平坦な場所に降ろし、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。また、本機に車止めをしてください。

(11) 堆肥を散布するときは

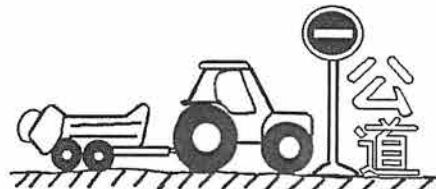
堆肥散布を始めるときは、後方に人や障害物のないことを十分確認し、散布距離を考慮して散布してください。



4. 道路走行・輸送するときは

(1) トラクタに装着しての公道走行禁止

トラクタに本機械を装着して公道を走行すると運送車輛法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。



(2) トラックなどへの積込み、積降しは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ車止めをしてください。積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。

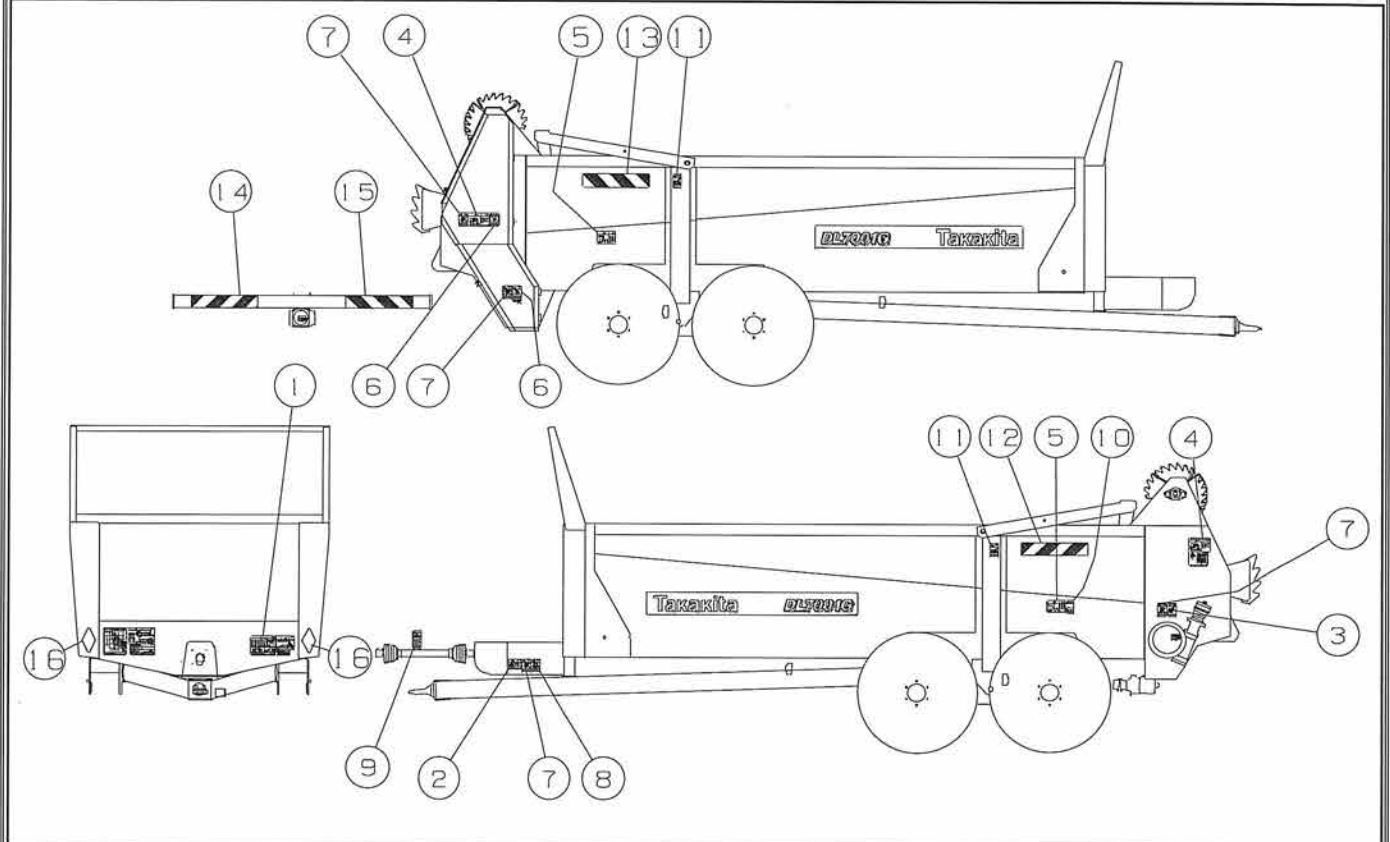


以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 00130-6200-290

②部品コード 00130-6000-960

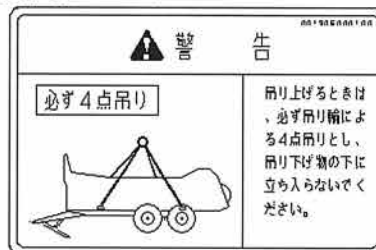
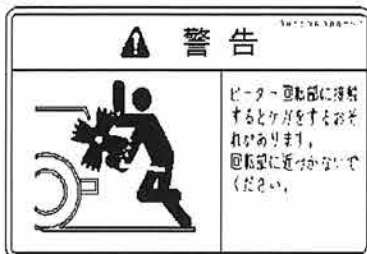
③部品コード 00130-6000-190



④部品コード 00120-6000-250

⑤部品コード 00130-6000-100

⑥部品コード 00130-6000-070



⚠ 安全に作業するために

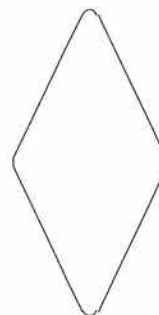
⑦部品コード 00130-6000-080 ⑧部品コード 00130-6000-760 ⑨部品コード 00130-6950-010



⑩部品コード 00120-6000-750 ⑪部品コード 00130-6000-790



⑫部品コード 00130-6000-370 ⑬部品コード 00130-6000-380 ⑭部品コード 00130-6000-390 ⑮部品コード 00130-6000-400 ⑯部品コード 00130-6000-290



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。



本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、堆肥散布にご使用ください。

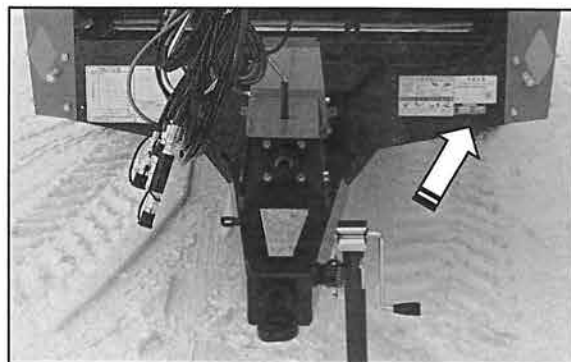
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

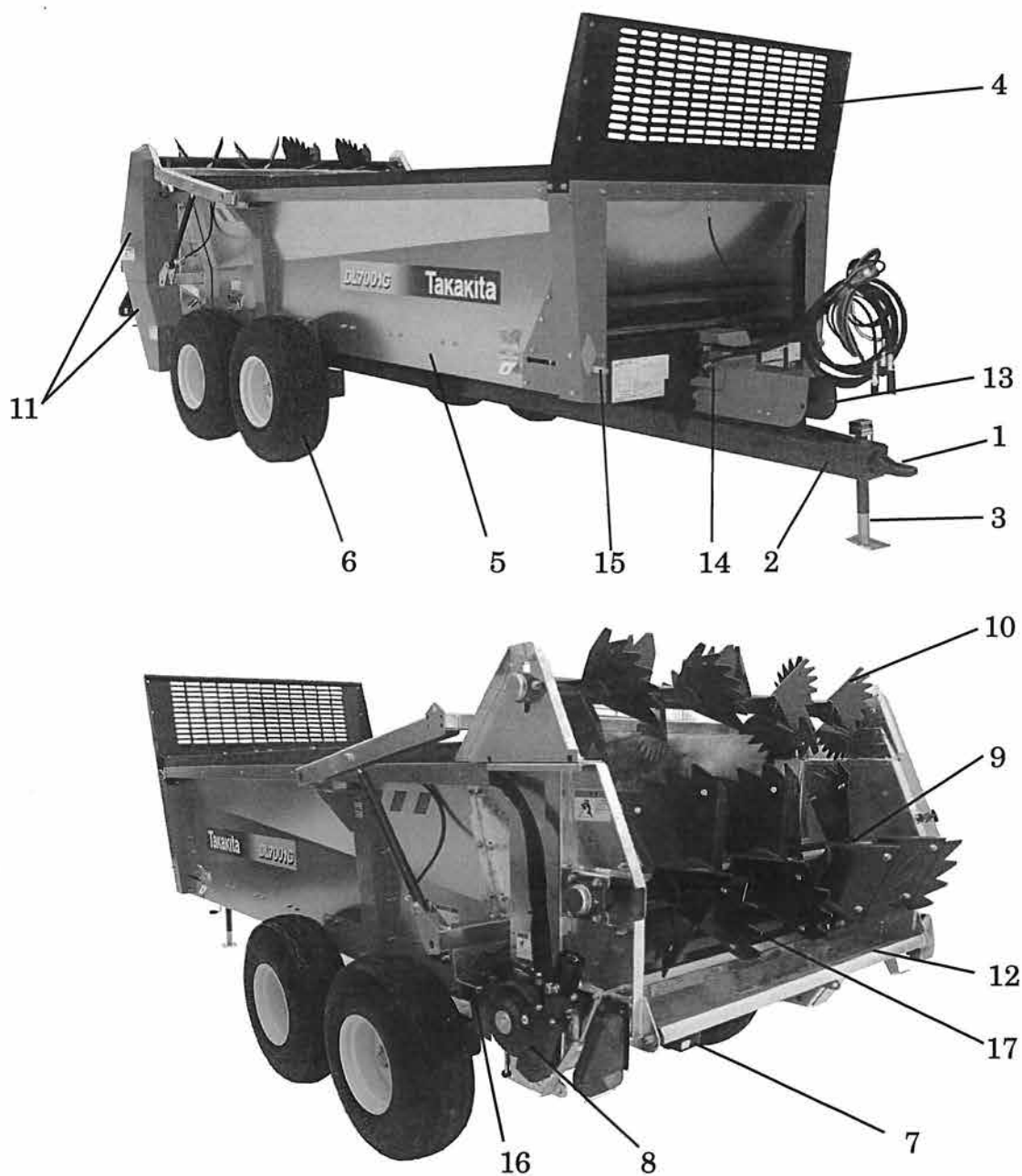
- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	マニアスプレッダ
型 式	
機 体 No. (SER-NO.)	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 店 名	TEL : ()

各部の名称とはたらき



番号	名 称	は た ら き
1	けん引かん	トラクタと連結する
2	フレーム	全体の荷重を支える
3	スタンド	トラクタの装脱着時及び保管時に使用する
4	ストンガード	トラクタへの石、堆肥の飛散を防止する
5	左右側板	荷箱を構成する

各部の名称とはたらき

番号	名 称	は た ら き
6	タイヤ	走行・停止に必要なもので車体を支える
7	ギアボックス	トラクタの動力をビータへ伝達する
8	コンベア駆動ミッション	コンベアを駆動する
9	メインビータ	堆肥を散布する
10	補助ビータ	上層堆肥をならす
11	チェンカバー	ビータを回転するチェンのカバー
12	マニアパン	清掃、詰まった異物の除去を行うときに開く
13	ジョイントカバー	入力軸の危険防止カバー
14	流量制御バルブ	床コンベアの送り速度を変える油圧流量制御バルブ
15	テンションボルト	コンベアチェンの張り調整を行う
16	車輪止め	駐車時のブレーキ
17	コンベア	堆肥を移送する

トラクタへの装着



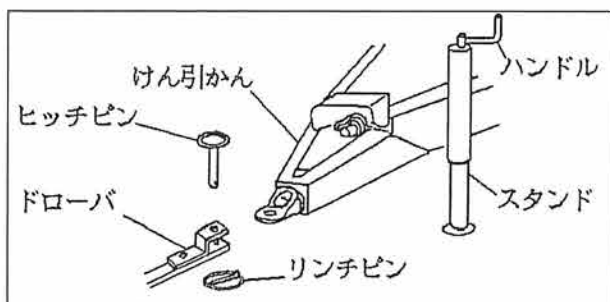
警告

- トラクタへの本機装着は、平坦で安定した場所で行ってください。
 - ドローバへの装着はトラクタの動きに十分注意し、2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
 - ユニバーサルジョイントの接続は、必ずトラクタのエンジンを止めてから確実に取付けてください。
- 以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

1. 装着のしかた

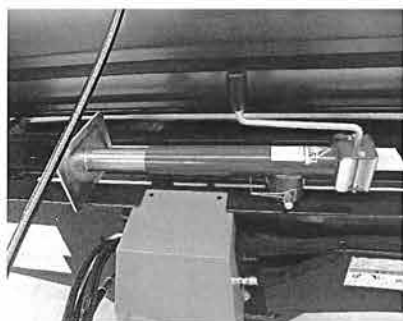
◆ドローバへの装着

- ① ドローバを一番短い位置にしてください。
- ② 本機、けん引かんの取付部を、スタンドのハンドルを操作してトラクタのドローバの高さに合わせ、トラクタを後進し、穴位置を合わせてヒッチピンで確実に装着してください。



注意

- ドローバを最短にして、本機を装着してください。
 - ヒッチピン挿入後は必ずリンチピンを入れ、抜け止めしてください。
- ◆スタンドを取外して格納してください。
スタンドを取外し、フレームに格納してください。(13 ページ参照)



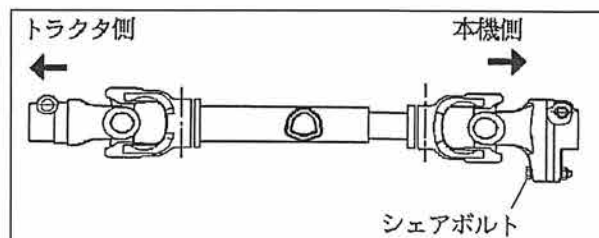
2. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタ P T O 軸に確実に取付けてください。

注意

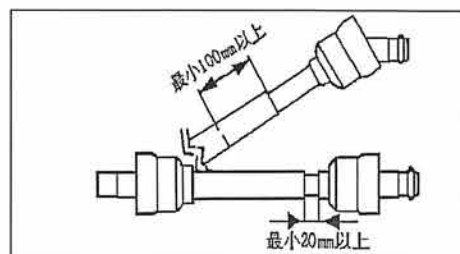
下図のように、シェアボルト付ヨークを本機側に取付けてください。



◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは本機が旋回するときに変化します。

先に、ジョイントが長すぎないかを確認してください。長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



トラクタへの装着

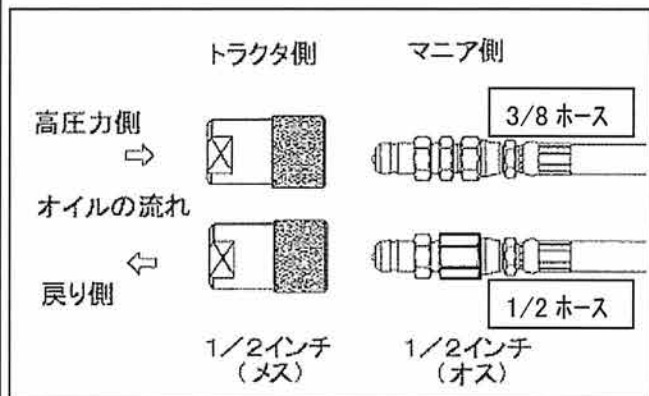
注意

- 作業時のジョイント角度は最大 30 度を超えないように調整をしてください。30 度を超えるとジョイントの破損の原因となります。
- ◆カバー回転止めチェーンで固定を
ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕を付けてしっかりと固定してください。

3. 油圧ホースの接続

◆接続は残圧を抜いてから

- ①トラクタのエンジンを停止し、トラクタの油圧操作レバーを押し引きして残圧を抜いてください。
- ②油圧ホース先端についている油圧カップラオスを、下図のようにトラクタの油圧カップラに差し込んでください。
- ③ゲート用油圧 (1/4 ホース) カプラ (単動油圧) をトラクタの油圧カップラに差し込んでください。



注意

トラクタの油圧カップラのメーカー及び規格が異なると、油圧コンベアが正常に作動しません。必ずトラクタに合った油圧カップラを使用してください。

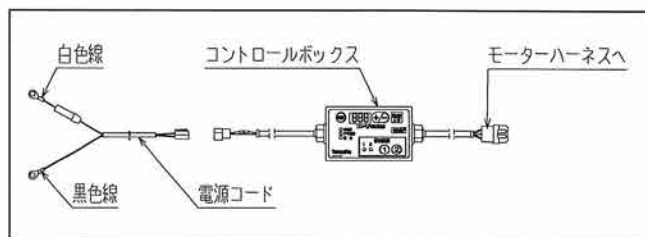
注意

- 油圧ホースを取外す場合は、トラクタの油圧レバーを押し引きしてトラクタの残圧を確実に取り除いてください。
- 油圧ホースをトラクタから外したときは必ず付属のダストキャップをカプラに差込み、傷をつけないようにしてください。

4. コントロールボックスの接続

- ①電源コードをトラクタのバッテリーと接続し、コントロールボックスとモーターハーネスを接続してください。

〔 白色線はバッテリーの (+) 極へ
黒色線はバッテリーの (-) 極へ
それぞれ接続してください。 〕



警告

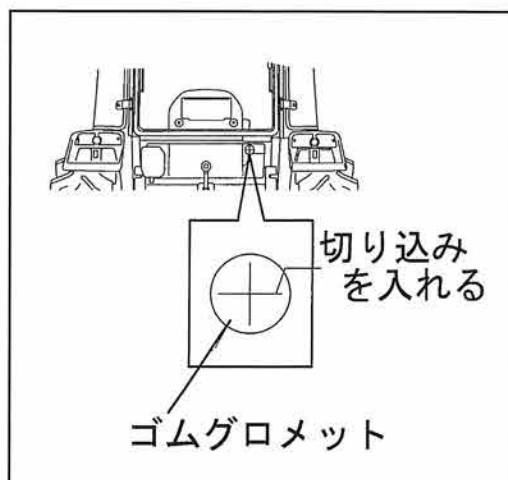
接続の順序は (+) 側から行ってください。
また、取り外すときは (-) 側から行ってください。
逆にすると火花が飛び危険です。

注意

- 接続できるバッテリーの電圧は、12V です。24V のバッテリーには接続しないでください。誤って接続すると、コントロールボックス及びモーターが破損します。
- ②コントロールボックスのハーネスを、トラクタの旋回時に対応できるよう十分に余裕をもたせ、回転部等に干渉しないよう、本機に取付けてください。

トラクタへの装着

◆トラクタのハーネスの通しかたについて
キャビン付トラクタでハーネスをキャビン内に引き込む場合、キャビン後部にゴムグロメットがついている場合は、ゴムグロメットにカッターナイフで切り込みを入れ、ハーネスは必ずゴムグロメットを介して通してください。



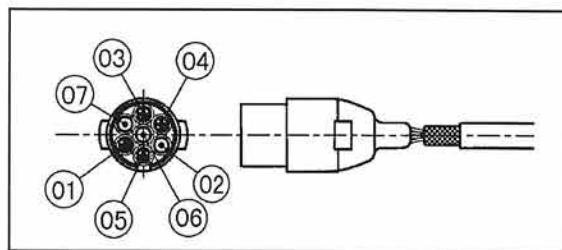
警告

ゴムグロメットを外して通すと、電源コードに傷がつき、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

注意

コントロールボックスの、水濡れは故障の原因となります。屋内に保管してください。

5. 灯火装置の接続



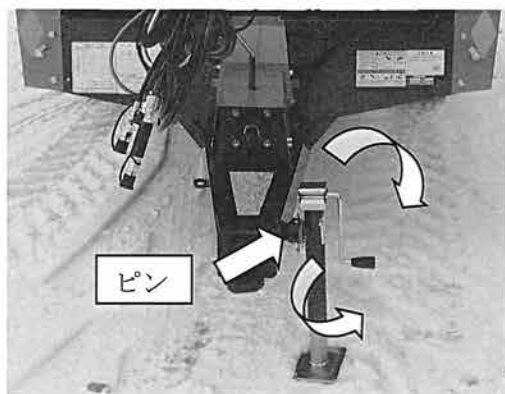
端子No.	配線色	接 続 機 器
①	白色線	アース
②	黒色線	駐車灯
③	黄色線	方向指示灯（左）
④	赤色線	制動灯
⑤	緑色線	方向指示灯（右）
⑥	茶色線	尾灯・番号灯・車幅灯
⑦	青色線	後退灯

運転に必要な装置の取扱い

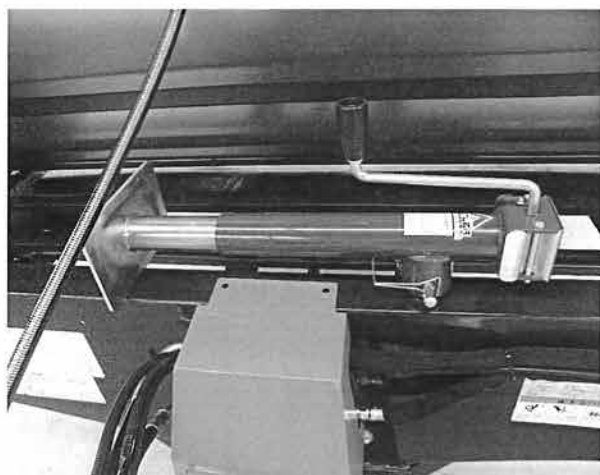
1. スタンドの取扱い

◆スタンドの操作のしかた

- ①スタンドはネジ式スタンドを使用しています。(空車時しか使用できません)
- ②ハンドルを時計回りに回すと伸び、反時計回りに回すと縮みます。



- ③ピンを抜き差しし、フレームに収納してください。



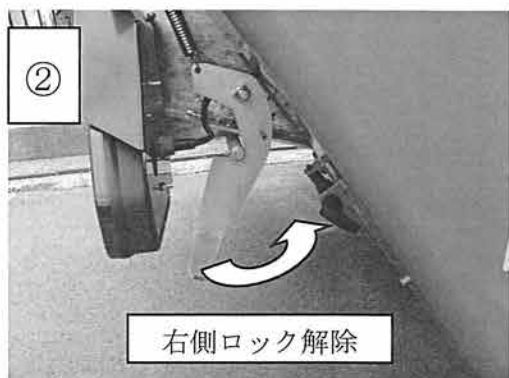
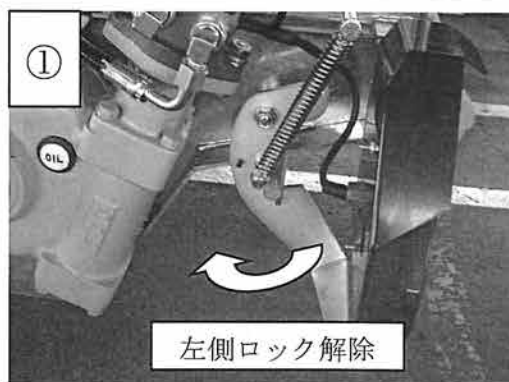
2. マニアパンの取扱い

◆マニアパンを開くときは

ビータに詰まった堆肥、異物などを取り除くときや、本機を清掃・洗浄するときに開いてください。

開く手順は

- ①本機左側のロックを外し
- ②本機右側のロックを外すとマニアパンが開きます。



⚠ 警告

異物等が挟まっている等、マニアパンが勢いよく開く場合があります。周囲に人がいないことや、開いたマニアパンに接触しない位置を確かめた上、マニアパンを開いてください。

マニアパンを閉じる時は左側のロックを外した状態でマニアパンを閉じた後、左側のロックを閉じてください。

運転に必要な装置の取扱い

3. 散布量（コンベア送り速度）の調整

◆散布量を調整するときは

コントロールボックスを操作して、希望する散布量の数字にコンベア送り速度を合わせてください。

①コントロールボックスの設定



電源[入/切]を押し、コンベア送り速度の「+/-」のボタンを押すと、送り速度調整ができます。[+]を押すと表示数値が増加して送り速度が速くなり、また[-]を押すと表示数値が減少して、送り速度が遅くなります。

注意

送り速度は10段階ですが、本機の機構上、比例的には送り速度は上がりませんので、送り速度と散布量（トラクタ速度）の関係は19ページを参照してください。

注意

全てのランプが点滅した場合は、コントローラとモータハーネスが正常に接続されていない場合があります。全てのランプが点滅した場合は、販売店にご相談ください。

②電源 [入/切]を押すと、表示（送り速度）は0に戻ります。

③作業の終了時には、電源 [入/切] を押し、電源を切ってください。

◆コンベア送り速度を記憶するときは

本機のコントロールボックスはコンベア送り速度を2通り、記憶する事が可能です。

①油圧は送らずに、電源[入/切]を押して電源を入れてください。

②「+/-」のボタンを押して、任意の送り速度を表示させてください。

③設定速度①又は②ボタンを約3秒間押しつづけると、①又は②ランプが点滅し、記憶終了です。

●記憶した送り速度は電源を切っても残ります。

●送り速度は何度も上書き可能です。

④電源[入]状態で設定速度①又は②ボタンを押すと、保存した送り速度に変わります。

●①又は②ボタンを押した後でも、送り速度の「+/-」のボタンを押すと、送り速度を変える事ができます。

◆コンベアを早送りするときは

「早送り」ボタンを押している間は、コンベア送り速度が最速（送り10）でコンベアが送られます。

「早送り」ボタンを離すと、元の速度に戻ります。

注意

コントロールボックスの、水濡れは故障の原因となります。屋内に保管してください。

運転に必要な装置の取扱い

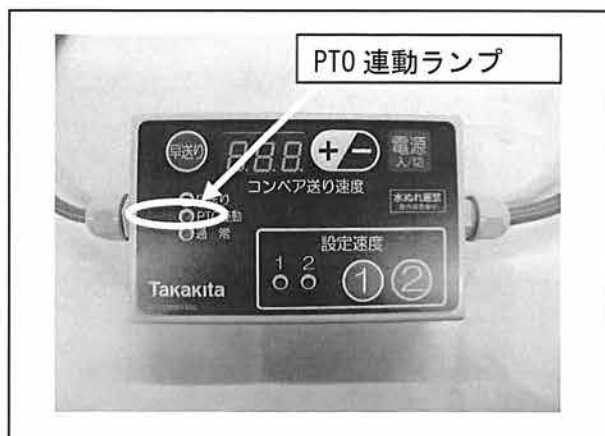
4. P T O連動機能について

本機はP T O回転速度が 300min^{-1} (rpm) 以上でないと、コンベアが動かない機能 (P T O連動機能) を装備しています。

P T O連動機能により、シェアボルトが切断した時等、メインビータやサブビータが回転していない時や、トラクタP T O回転速度が低い時(回転速度が 300min^{-1} 以下)は、コンベアが動きません。

通常、コントロールボックスの電源を ON にした場合はP T O連動機能 ON 状態です。その状態で、電源[入/切]を短く押すとP T O連動機能の ON/OFF を切り替えることができます。

P T O連動機能が ON の時はP T O連動ランプが点灯し、OFF の時は消灯します。



P T O連動機能 OFF は、荷箱内の清掃等、ビータを回さずにコンベアを送りたい時に使用してください。

注意

- 通常の散布作業はP T O連動機能 ONで行ってください。
シェアボルト切断時にコンベアの送りが自動で停止し、機体を保護することができます。

P T O連動機能 OFF の状態で作業すると、機械が破損する危険性があります。

シェアボルトが切断した時は、マニアパンを開け、荷箱内の異物を取り除いてから、作業を再開してください。

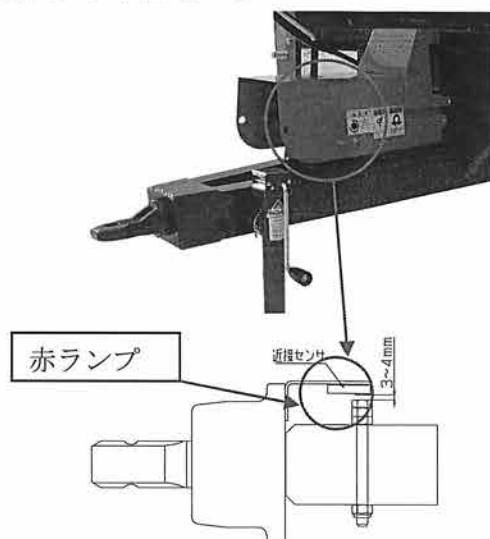
警告

異物を取り除く際は、平らで安全な場所へ移動し、必ず車輪止めをしてトラクタのエンジンを停止させ、コントロールボックスの電源を切り、安全を確認の上、棒等を使用して異物を取り除いてください。

5. 近接センサについて

- ① 本機には P T O 回転速度検出用の近接センサが取り付けられています。近接センサとボルト頭とのスキマが $3\sim 4\text{mm}$ になるようにボルトの距離を調整してください。

- ② コントロールボックスの電源が ON の状態で近接センサをボルト頭に近づけて、近接センサの赤ランプが点灯することを確認してください。



運転に必要な装置の取扱い

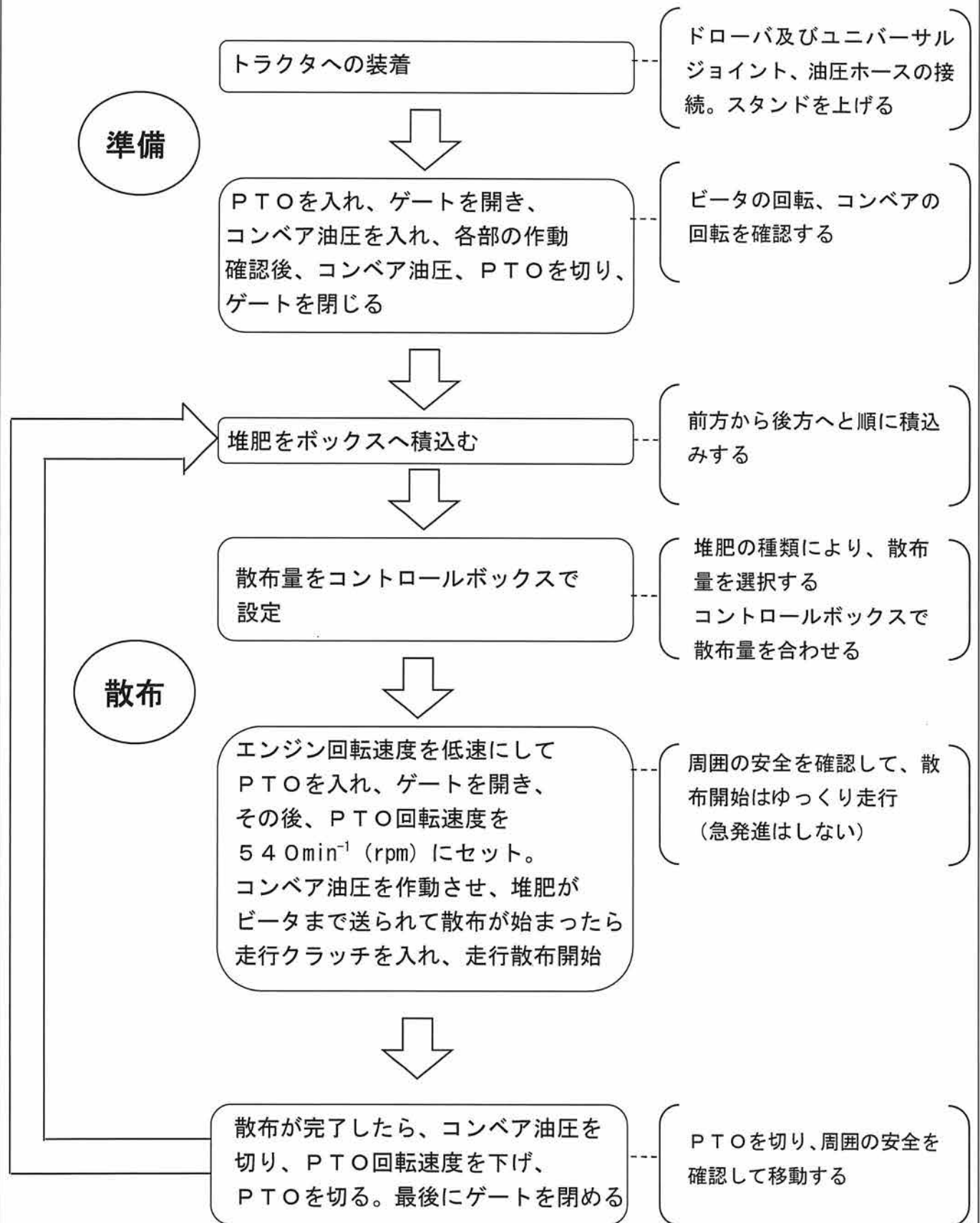


警告

近接センサを調整する際は、平らで安全な場所へ移動し、必ず車輪止めをして、トラクタのエンジンを停止させ、安全を確認の上、調整を行ってください。

作業方法

1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するときは

移動するときは、トラクタのブレーキがきく、安全な速度で走行してください。

注意

下り坂を走行する場合は、トラクタのエンジンブレーキを使用してゆっくり走行してください。

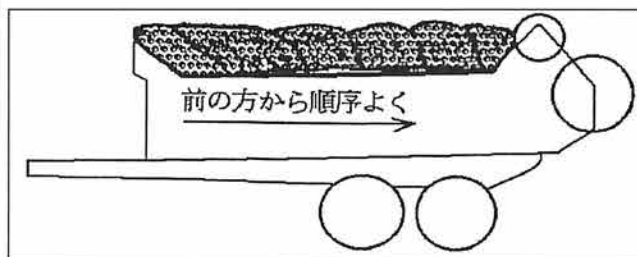
警告

- 本機を装着しての運転は、まわりの条件に適した速度で行ってください。絶対に急発進、急ブレーキ、急ハンドルは行わないでください。
- 旋回するときは、重心の変化や機械の長さ、幅に十分注意してください。

3. 堆肥の積み込み方法

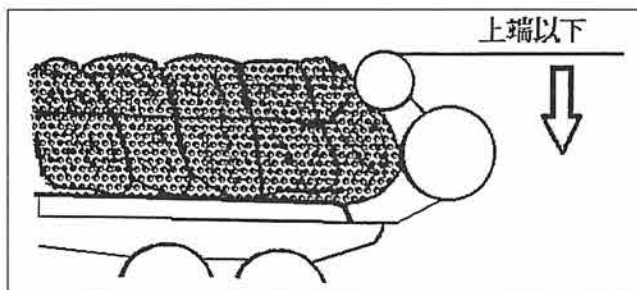
◆前の方から順序よく積み込みしてください。

堆肥を積み込むときは、前方から後方へと順序よく積み込むと、散布時に堆肥がほぐれやすくなります。



◆ビータの上端まで積み込みしてください。

堆肥の積み込み高さは、ビータの上端以下です。ビータの上端より上に堆肥を積み込むと、散布が均一になりません。



注意

堆肥を積み込む際、上から押さえつけないでください。堆肥を圧縮すると、散布性能が悪くなります。また、故障の原因となります。

警告

堆肥を積み込むときは、平らで安全な場所でトラクタのエンジンを停止させてから積み込み作業をしてください。

◆石などは、取り除いてください。

堆肥に石や木片などの異物が混入していると、本機損傷の原因となります。積み込み作業中に発見したら、必ず取り除いてください。

4. 散布できない物は

◆土、砂などは散布できません。

土、砂、石、砂利、ブロック類
木材類、氷、鉄屑 等は散布できません。

5. コンベア送り速度の設定

◆送り量を設定する時は

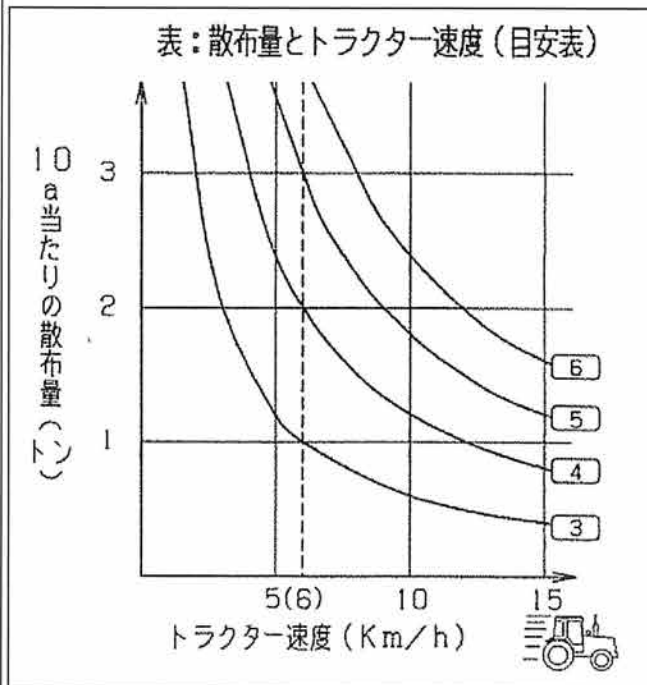
通常散布する場合は、コントロールボックスで、希望する散布量の速度に設定してください。

作業方法

6. 散布量とトラクタ速度について

◆散布量設定のしかた

散布量を設定する場合、次表を目安に、希望する散布量を、トラクタの車速とコントロールボックスで設定してください。



●散布量目安表「散布量とトラクタ速度」は本機前方の右側に貼り付けてあります。散布量は堆肥の種類によって異なりますので、参考値としてお考えください。

《例》10a 当たり 2 トン散布したい場合は、送り速度 4 でトラクタ車速 6 km/h となります。

7. 散布方法について

◆作業手順

- ①エンジン回転速度を低速にして、PTOを入れる。
- ②ゲートを開ける
- ③PTO回転速度を 540min^{-1} (rpm) にする。
- ④トラクタ油圧を入れてコンベアを作動させる。

⑤堆肥がビータまで送られ、飛散したら走行クラッチを入れ、設定速度で走行してください。

注意

エンジンを高速回転させ、PTOクラッチを入れるとシェアボルトがせん断します。

必ずエンジン回転速度を低速にしてからPTOクラッチを入れてください。

！注意

- PTOとトラクタのコンベア送りの油圧を入れるときは、必ず次の順序で入れてください。
 - ①ゲートを開ける
 - ②PTOを入れる。
 - ③トラクタのコンベア送りの油圧を入れる。
- 逆に入れると、ユニバーサルジョイントのシェアボルトがせん断します。
- 止めるときはトラクタの油圧を切ってからPTOを切ってください。
- 散布作業を始めるときは、後方に人や動物のいないことを確認してください。
- コンベアを送る前に、必ずゲートを開けてください。
ゲートを閉じた状態でコンベアを送ると、ゲートが破損する場合があります。

作業方法

◆PTO回転速度

散布作業を行うときは、PTOの回転速度は $500 \sim 540 \text{ min}^{-1} (\text{rpm})$ で行ってください。

◆通常散布を行う場合は

コンベア送り速度をコントロールボックスで設定し、散布作業行なってください。



注意

- 通常の堆肥散布を行うときは、ゲートを最大まで上げて使用してください。
- ゲートを使用して堆肥を平らにならすことは絶対しないでください。本機が破損します。

注意

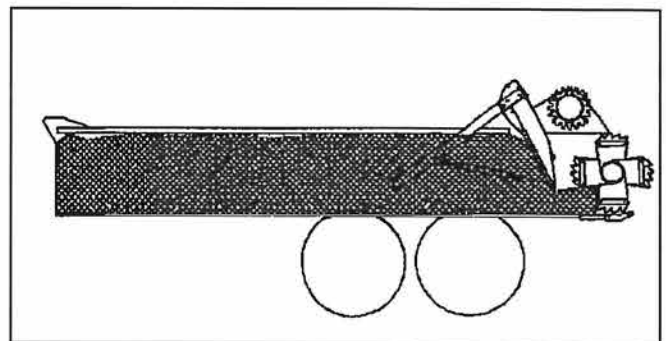
作業後は緩衝材、ゲートおよびシリンダ等に堆肥が堆積している場合は取除いてください。
そのままにしておくと、堆肥が固まりゲートが正常に作動しなくなる恐れがあります。

8. スラリー（ヘドロ）状堆肥の散布

スラリー（ヘドロ）状の堆肥を散布するときは、PTOを入れてビータを回転し、油圧ゲートをゆっくり上げてゲートの上げ高さで散布量を調整してください。送り速度は1～3程度とします。

ただし、硬い堆肥が入っているときは、油圧ゲートが曲がる場合があります。ヘドロ堆肥で流動的な場合にのみ、この散布を行ってください。

散布精度は通常の堆肥より悪くなります。



9. 傾斜地での作業

◆必ず直角走行、急ハンドル禁止

等高線に対して直角走行し、旋回は速度を落とし、急ハンドルは切らないでください。

警告

斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は横転の危険がありますので、決して行わないでください。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。作業前の点検は、欠かさず行ってください。

警告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたり危険です。
- 点検整備をするときは油圧を切り、エンジンを停止させて回転が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項目	内容	参照	チェック
1	コンベアチェーンの張り調整	50mm	22	
2	ビータ駆動チェーンの張り調整	たわみ量 10～15mm（メインビータ）、 15～25mm（サブビータ）	22	
3	ビータのヒモなどの巻き付き	ヒモ、草巻き付きを除去	—	
4	ビータハネの摩耗	交換する	—	
5	ビータハネ取付けのゆるみ	増締めをする	—	
6	ギアボックスオイルの給油	ギアオイル #90 補充（0.6リットル）	29	
7	コンベア駆動ミッション	ボンノック AX オイル 460# （1.4リットル）	—	
8	予備シェアボルト	不足の時は、補充	23	
9	タイヤ空気圧	不足の時は、空気補充	23	
10	タイヤハブナットのゆるみ	増締めをする	23	
11	その他各部注油、グリス	各部への給油参照	26～28	

以上について、異常が認められない場合は、PTO回転速度 500～540min⁻¹（rpm）まで徐々に上げ、1～2分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

点 検 メ モ

簡単な手入れと処置

注意

チェーンは初期伸びをします。初めての使用から 10 時間後は下記に従って、張り調整を行ってください。

警告

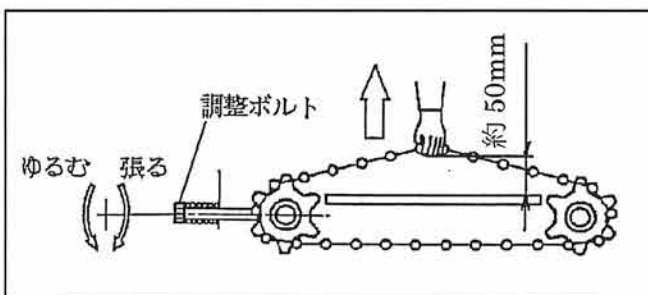
- ①チェーンの張り調整や、各部の調整をするときは、PTOを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類は、必ず取付けてください。

1. コンベアチェーンの張り調整

◆調整のしかた

コンベアチェーンが伸びた時は、次の要領で調整してください。

- ①下図に示す張り調整ボルトを右に回し、左右均一に張ってください。
- ②コンベアバーの中央部を手で持ち上げて、床面との距離を約 50mm になるよう調整してください。



注意

コンベアチェーンは必ず左右均一の張り調整をしてください。

2. 各駆動チェーンの張り調整

◆サブビータチェーンの調整

テンションローラを締め付けているボルトを少しゆるめ、テンションローラを押し込み、チェーンのたわみ量を 15～25mm に調整しボルトを締め付けてください。

サブビータチェーン

15～25mm

テンションローラ



◆メインビータチェーンの調整

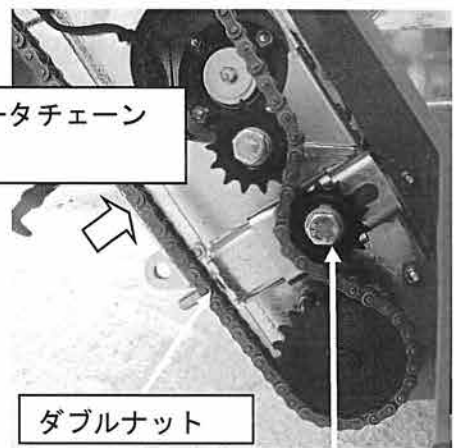
- ①テンションスプロケットを固定しているボルトを少しゆるめる。
- ②ダブルナットをゆるめ、上側のナットを締め上げて、チェーンのたわみ量を 10～15mm に調整する。
- ③テンションスプロケットの固定ボルトとダブルナットを固定してください。

メインビータチェーン

10～15mm

ダブルナット

テンション
スプロケット



簡単な手入れと処置

3. シェアボルトの交換

シェアボルトはユニバーサルジョイントのヨーク部に取り付けられています。過負荷がかかったとき、ボルトがせん断され、ビータの回転が停止します。

◆シェアボルトのサイズ

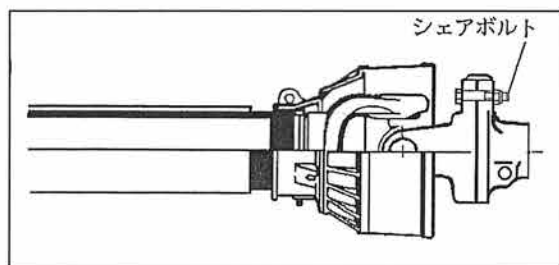
M8×45 (8 T) 半ネジ 1本

注意

シェアボルトは上記指定のボルト以外は絶対に使用しないでください。

◆ボルトがせん断したら交換してください。

せん断したボルトを除去し、ボルト穴を合わせてからシェアボルトを入れ、ナイロンナットで締め付けてください。



注意

再始動するときは、ビータの異物などを取り除いてから行ってください。

4. 洗浄について

◆本機を洗浄するときは

P T Oを切りエンジンを停止させて、回転部が停止してから洗浄してください。コンベアを動かしながらの洗浄は行わないでください。

！危険

点検や清掃、洗浄を行うときは、必ずP T Oを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。
これを怠ると重大な傷害事故につながるおそれがあります。

5. タイヤの点検、修理

◆装着のタイヤと空気圧

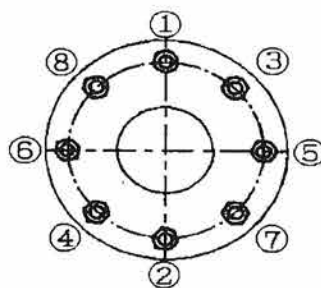
本機のタイヤと空気圧は下記のとおりです。定期的に点検してください。

又、ホイールを止めているハブナットは、凹凸の多いほ場では初期段階にゆるむ場合があります。

定期的に点検し、ゆるんでいる場合は下図の順序で増し締めしてください。

本機に装着しているタイヤのサイズと規定空気圧

DL7001G	タイヤサイズ [*]	11.5/85-15 8PR(チューブレス)
	空気圧	300kPa(3.0kg/cm ²)



DL7001G

本機に装着しているハブナットの締め付トルク

DL7001G	ハブナットサイズ [*]	M16×P1.5
	締め付トルク	235～284N・m

！危険

- タイヤに関する作業を行う場合は、安全な場所に本機を停車し、必ず車輪止めをしてから行ってください。
- タイヤ及びホイールに関する修理は、十分な設備をもつタイヤショップなどに依頼してください。

簡単な手入れと処置

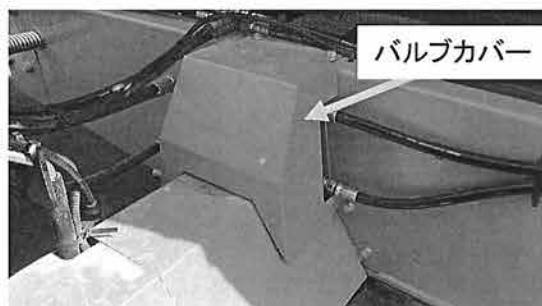
6. コントロールボックス（電気系統）が故障した場合の処置

コントロールボックスやモータ（電気系統）が故障した場合、下記の処置を行う事で、暫定作業が可能になります。

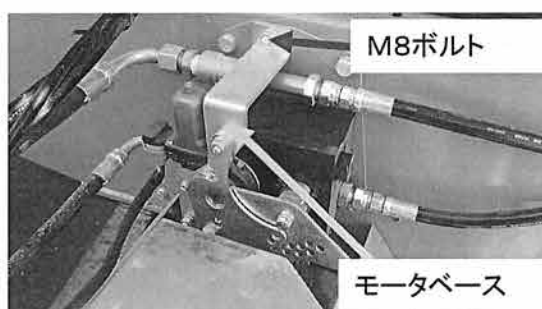
警告

下記処置を行う時は、PTOを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。

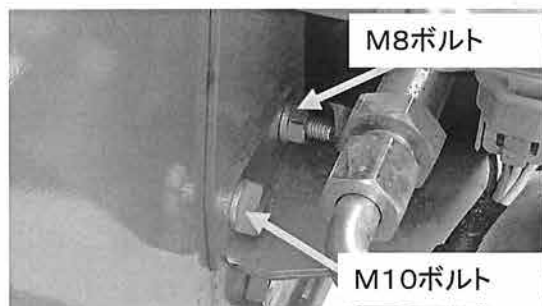
- ①バルブカバーを外してください。
(M8 ボルト 4本)



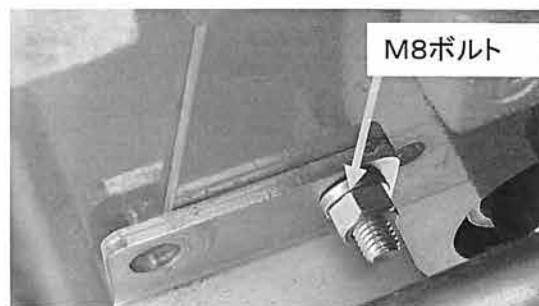
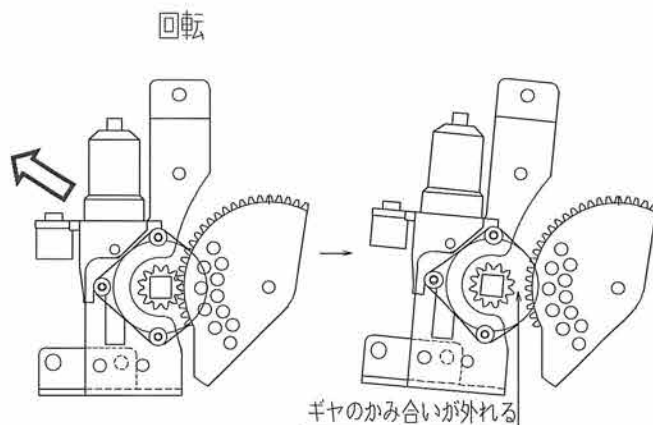
- ②モータベース上部のM8 ボルト 1本を緩めてください。



- ③下部左側のM8 ボルト 1本と M10 ボルト 1本を外してください。

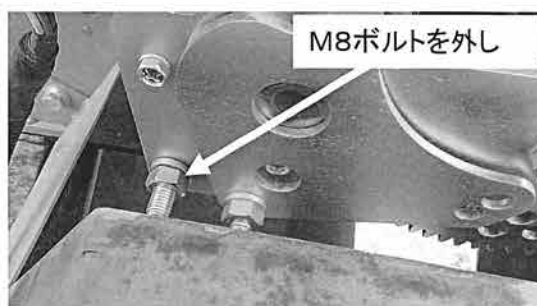


- ④モータベースを時計回りに若干回し、
③で外したM8 ボルト 1本で固定してください。
(モータのギアのかみ合いを外します。)



- ⑤②で緩めたM8 ボルトを固定してください。

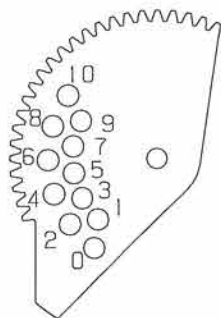
- ⑥モータベースに組付されている予備の M8 ボルトを 1本外し、オクリチョウセイギアを任意の位置で固定してください。



簡単な手入れと処置

オクリチョウセイギアの穴位置とコンベア送り速度の関係は下記です。

(暫定作業位置ですので、コントロールボックスの送り速度とは若干、差異が生じる場合があります。)



注意

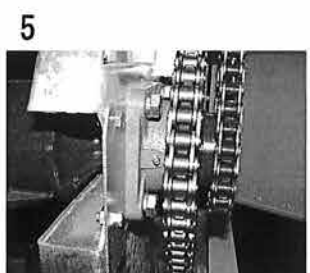
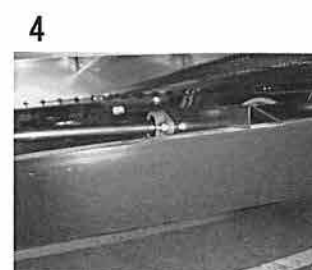
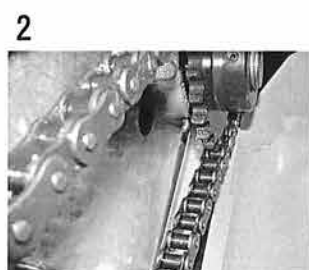
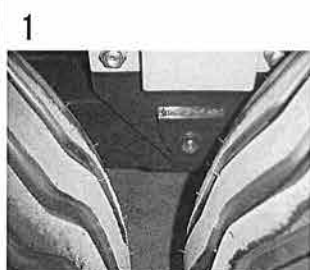
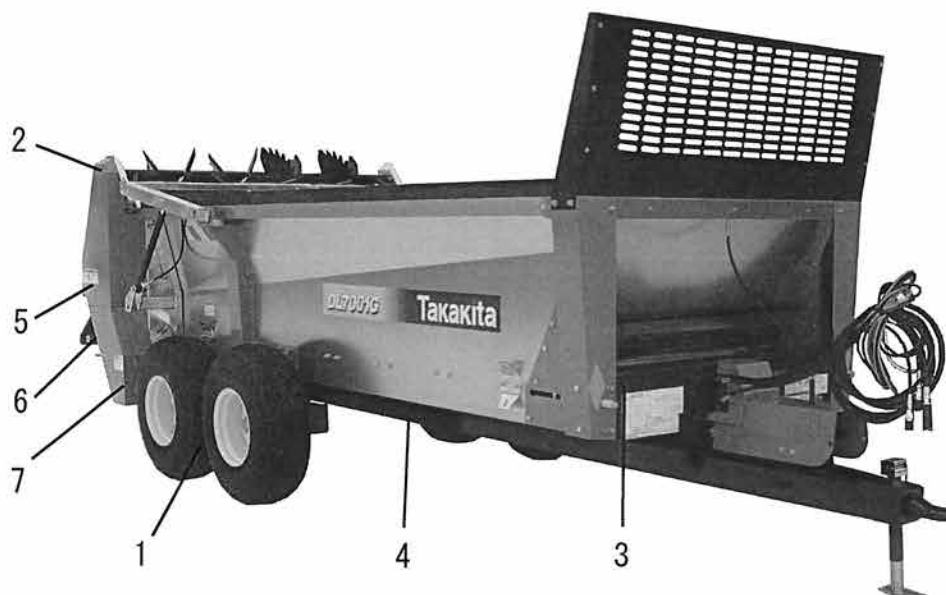
コントロールボックスに関係なく、トラクタの油圧操作のみでコンベアが送られます。

シェアボルトが切れた時等、PTO連動機能による機械の保護機能（コンベア送り停止機能）は動作しませんので、注意してご使用いただき、出来るだけ早く修理をしてください。

簡単な手入れと処置

7. 各部の注油・グリスアップ

図表に従って各部にグリスアップを行ってください。



図番	場 所	グリスアップ 時間	備 考
1	タンデムピン (タイヤとタイヤの間)	50H	左右 2箇所
2	補助ビータ右軸受	50H	
3	床コンベア前スプロケット	50H	左右 2箇所
4	コンベア駆動シャフトの中間軸受	50H	2箇所
5	メインビータ右軸受	50H	
6	コンベア駆動軸右軸受	50H	
7	ビータ駆動シャフトの右軸受	50H	

簡単な手入れと処置

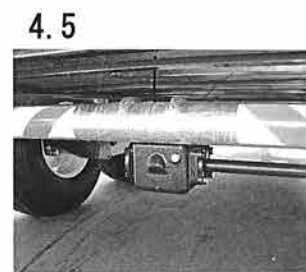
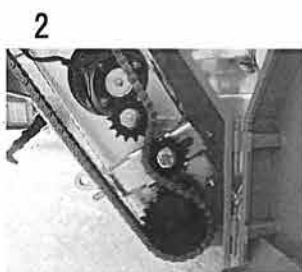
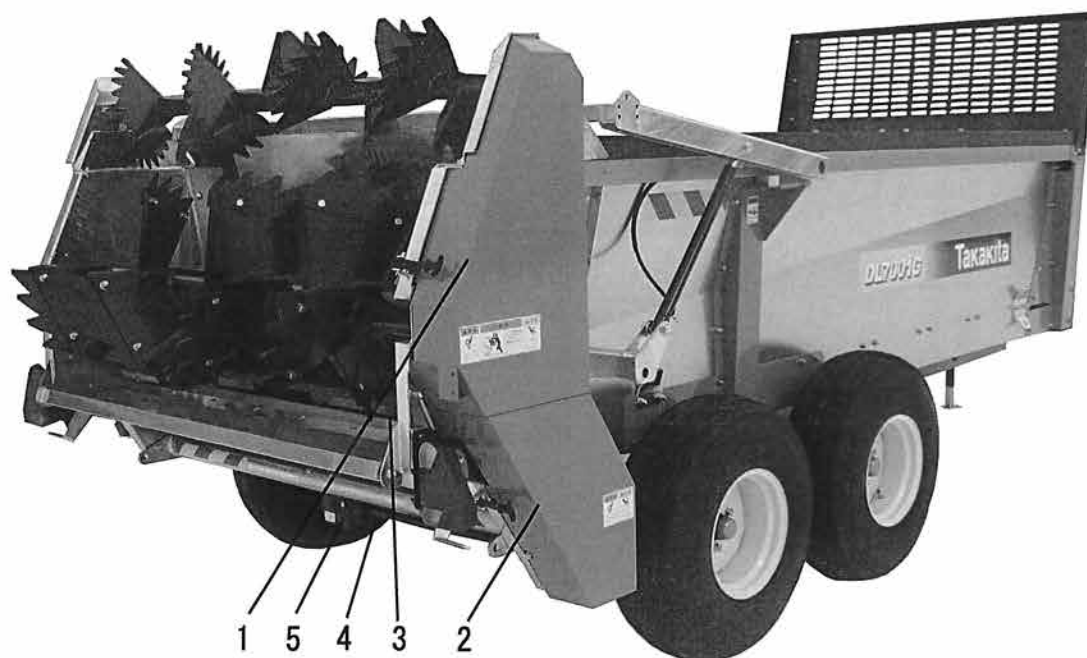
図表に従って各部にグリスアップを行ってください。



図番	場 所	グリスアップ 時間	備 考
1	補助ビータ左軸受	50H	
2	メインビータ左軸受	50H	
3	コンベア駆動軸左軸受	50H	

簡単な手入れと処置

図表に従って各部に注油を行ってください。



図番	場所	注油 時間	備考
1	補助ビータ駆動チェーン	20H	
2	メインビータ駆動チェーン	20H	
3	コンベアチェーン	20H	長期格納時：廃油
4	コンベア駆動シャフトのチェーン	20H	
5	ミッション	シーズン毎	ギアオイル #90

簡単な手入れと処置

8. ミッション給油

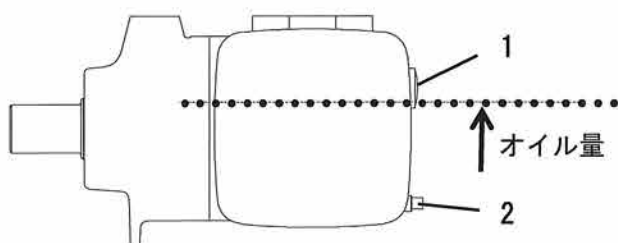
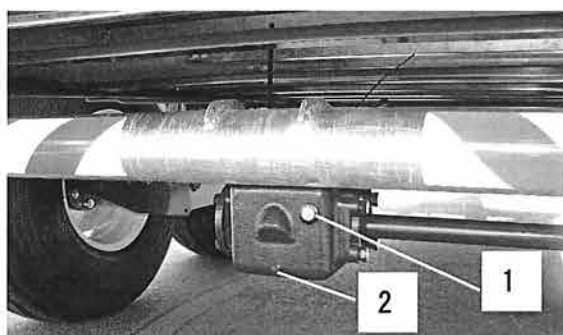
シーズンごとに全量を交換してください。

ギアオイル	容量 (ℓ)
#90	0.6

以下の手順に従ってオイル交換を行ってください。

① 2のドレンプラグを外し、使用済みオイルを出す。オイル出し切った後、新しいシールテープを巻いたドレンプラグを取付けてください。

② 1のオイルキャップを外し、穴からオイルが出るまで新しいオイルを入れ、オイルキャップを取り付けてください。



9. 長期格納時の手入れ

- 水洗いして付着した堆肥や泥などを落とし、巻き付いたヒモや草などを取り除いてください。
- 乾燥後は、回転部、摺動部やチェーン類には十分注油し、さびないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、塗料を塗ってさびないようにしてください。
- 格納するときは、雨やほこりのかからない屋内の平坦な場所で保管してください。

不調診断

不調内容	診 断	処 置	参照
コンベアが動かない	●PTO 連動機能が働いている ●荷箱内に異物がある ●コンベアがゆるんでいる ●コンベアチェーン、バーの切損 ●油圧ホースの接続が悪い ●トラクタの油圧オイル不足で所定の圧力が出ていない ●トラクタの操作が悪い	●PTO 回転速度を $300\text{min}^{-1}(\text{rpm})$ 以上に上げる ●混入した異物を除去する ●コンベアの張り調整をする ●チェーン、バーを交換する ●油圧カプラを確実に接続する ●油圧オイルを補充する ●油圧の送り方向を確認する	15 13 22 11 11
ビータが回転しない	●シェアボルトが切断した	●シェアボルトを交換する (M8×4.5 8 T 半ネジ) ●混入した異物を除去する	23 13
送りが遅い	●堆肥に異物が混入している ●ビータのハネが摩耗している ●ビータ端面に堆肥が詰まっている	●異物を除去する ●新品と交換する ●詰まった堆肥を除去する	13 13
散布状態が悪い (バラつく)	●ビータのハネが摩耗している ●異物が混入している	●新品と交換する ●異物を除去する	13

付表

1. 主要緒元

品 名	マニアスプレッダ	
型 式	DL7001G	
装着方法	ドローバけん引式	
駆動方法	P T O 駆動 (回転速度 500~540min ⁻¹ (rpm))	
適用トラクタ	36.8~73.6 KW (50~100 PS)	
機 体 寸 法	全 長	5,930mm
	全 幅	2,300mm
	前 高	2,250mm
質 量	1,890kg	
散布幅	3.2m	
堆肥送り機構	0~10段 (7~10段は洗車時に使用)	
コンベアチェーン・配列	2列	
車輪配列	1軸4輪 (タンデム式)	
タイヤサイズ	11.5/80-15 8PR	
最大積載量	5,600kg	
作業速度	4~6 km/h	
作業能率	14~17 分/10a	
ボ ッ ク ス 寸 法	全 長	4,060mm
	全 幅 (最小)	1,540mm
	全 高	800mm
	JIS 荷箱容量	6.3 m ³ (ゲートなし 7.0m ³)

※この主要緒元は、改良のため予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

品 名	部品コード	備 考
ハネ A	11717-2271-002	
シェアボルト	01158-0080-45A	M8×45 8.8T (半ねじ) (10本セット)

3. 給油

給油箇所	使用オイル	給油量
センターミッション	ギアオイル #90	0.6 リットル
コンベア駆動ミッション	ボンノック AX オイル #460	1.4 リットル